佐久市文化財情報
平成28年度

第38回(5月14日)・39回(8月10日)考古学教室
「少年考古学教室」から「子どもも大人も考古学教室」に名前が変わりました！

合計183名が参加。勾玉づくりや土器の接合体験、展示室の見学を行いました。

下曽根遺跡Ⅹ（小田井）

会社を建てるために発掘調査を行いました。
古墳時代から平安時代の家の跡11軒、土坑と言う少し大きな穴が８個、柱や杭などを立てたピットと言う小さな穴が列になったものが１列発見されました。

西側調査区

東側調査区

下芝宮遺跡Ⅵ（長土呂）

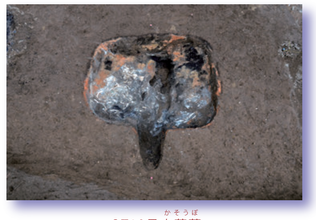
アパートを建てるために発掘調査を行いました。
古墳時代から平安時代の家の跡18軒、倉庫や小屋の跡４棟、土坑と言う少し大きな穴が16個、溝が1条、柱や杭などを建てたピットと言う小さな穴が471個発見されました。

Ｈ１号という古墳時代の家から発見された土器や石器。

藤ケ城跡Ⅱ・Ⅲ（岩村田）

岩村田小学校の改築のために発掘調査を行いました。
古墳時代と奈良時代の家の跡３軒、溝が２条、火葬墓が31箇所発見されました。

M9号溝址


OT19号火葬墓

宮の上遺跡Ⅵ（三河田）

工場を建てるために発掘調査を行いました。
平安時代の家の跡２軒、倉庫や小屋の跡１棟、柱や杭などを建てたピットと言う小さな穴が１個発見されました。

上久保田向遺跡Ⅷ（岩村田北）

会社を建てるために発掘調査を行いました。
平安時代の家の跡１軒、土坑と言う少し大きな穴が１個、溝が１条発見されました。

南上北原遺跡Ⅱ（長土呂）

宅地にするために発掘調査を行いました。
平安時代の家の跡２軒が発見されました。

家浦遺跡Ⅱ（下小田切）

道（県道）をつくるために発掘調査を行いました。
弥生時代の溝が１条、平安時代の土坑と言う少し大きな穴が３個、弥生時代と平安時代の柱や杭などを立てたピットと言う小さな穴が57個、土器や木材などを捨てた場所などが発見され、弥生時代の銅製の矢の先や、平安時代の加工された木材が出土しました。

弥生時代の銅製の矢の先

平安時代の加工された木材（神社本殿の扉の部品とおもわれる「蹴放し」）

＊これは、平成28年度に佐久市教育委員会が行った発掘調査などについてのダイジェスト版です。
もっと詳しく知りたい人は「佐久市文化財年報 26」を見てください。
年報 26は佐久市内の図書館と小・中学校に配布されています。

佐久市教育委員会 文化振興課 文化財事務所
平成 29年11月作成